

(地Ⅲ183) F
平成 27 年 12 月 4 日

都道府県医師会
感染症危機管理対策担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
小 森 貴

化血研に係る定例記者会見等について

一般財団法人化学及血清療法研究所（化血研）が設置した第三者委員会の調査結果が 12 月 2 日に公表され、同社の血液製剤やワクチンが薬事承認書と異なる方法により製造され、長い期間放置されてきたこと等が明らかになりました。

これを受け、小職が同日の本会定例記者会見において、医薬品に対する信頼や、国民の健康という観点からも極めて遺憾であり、化血研には猛省を促すとともに二度とこのようなことがないよう強く要請していく旨を表明いたしました。

一方、今般、同社のクアトロバック皮下注シリンジの出荷自粛要請が解除に至ったのは、11 月 26 日付文書（地Ⅲ170）『クアトロバック皮下注シリンジ』の出荷自粛要請の解除について」にお示ししたように、厚生労働省が調査した結果、同製剤について報告された齟齬や情報が、製品の品質及び安全性等に重大な影響を及ぼす可能性は低いと判断されたことにあります。

上記通知は都道府県医師会文書管理システムに掲載し、定例記者会見については下記の URL に掲載しておりますので、貴職におかれましては、あらためて貴会会員に対して周知いただきたく、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

【12 月 2 日 日本医師会定例記者会見の URL】

<http://www.med.or.jp/nichiionline/article/004057.html>